



住民同士の 支え合いのカタチ

Interview

困っている人を見逃さない、 生み出さない仕組みづくり

右のグラフが示しているとおおり、約60%の方々が地域活動に参加したいと思っています。しかし、実際は生活のちょっとした困りごとを解決する「助け合い・支え合い活動」を立ち上げ実現したいと思う人は、半数以下にとどまっています。

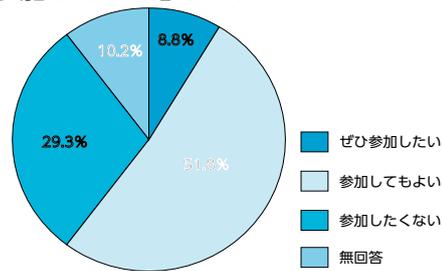
それは、日常生活の中で気づいている、気になること、気にかけていることを話し合い生活のちょっとした困りごとを地域の皆さんと共有する機会がないからだと思います。これからの「助け合い・支え合い活動」は、個々の生きづらさを助け合いながら地域の困りごとを自分のこととして捉え、福祉の専門職と協働しながら、皆さんと解決に向けた取り組みが必要です。力を合わせ、よりよいまちづくりに取り組みましょう。



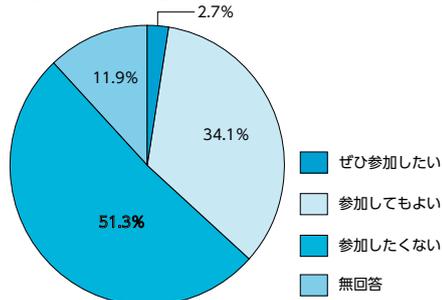
町社会福祉協議会
藤本勇樹さん

「地域活動」現状と課題

地域活動に参加者として
参加したいと思いますか



地域活動に企画・運営として
参加したいと思いますか



(田原本町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に係るアンケートより)

本格的な超高齢社会へ突入した今、高齢者世帯・独り暮らしの世帯の増加、近所付き合いの希薄化など地域をとりまく状況は著しく変化しており、さまざまな問題がおこっています。私たちが安心して地域で暮らすためには、「助け合い・支え合い」の仕組みをつくっていくことが必要です。

住民同士が助け合い、支え合い、住み慣れた地域で暮らし続けるまちづくりを作ってみませんか。

長寿介護課 ☎ 34・2052

地域支援の会(南薬王寺)

平成22年に「田原本町ボランティア地域支援講習」を受講し、地域支援の会を立ち上げました。民生委員とともに月1回、地域の情報を持ち寄り、支援を必要とする人にどのような支援が必要か話し合います。ケアマネージャーとも連携して、ヘルパーさんとの隙間^{すきま}を埋めるように努めています。日ごろの見守り、ごみ出し、一人暮らしの人の緊急入院などへの対応など、会員ができることをプライバシーに配慮しながら支援します。▲会合で地域の情報を共有する



▲地域支援の会の会員たち

たすけあいもみぢ(西代)

最初はサロン活動から始まり、「たすけあいもみぢ」を立ち上げ1年が経ちました。

主な活動は、地域の高齢者の家を訪問して話をしたり、生活の支援をしたりします。取材した上田さんは「馴染みのある方々が来てくれるので安心感が大きいです。相談できる人が身近にいて、地域のつながりを感じています」と話していました。

会員さんの声

私も要支援の認定を受けていて決して体が丈夫なわけではありません。しかし、人と話すのは楽しく、地元の人たちが親切にしてくれるので、今も続けられています。(森本さん)



▲「たすけあいもみぢ」の乾さん、森本さん(左から)



▲聞き取りやすいように耳元で話しかける

地域づくり町民フォーラム

地域で助けあうためにみんなで考えよう

～誰もがいきいきと暮らすために～

少子高齢社会を迎えた今「住み慣れた地域で楽しく住み続けたい!」この思いを形にするためには、『助け合い・支え合い活動』が大切になってきます。

あなたがあつたらいいなと思う『助け合い・支え合い活動』をみんなで考えてみませんか。

日時 7月12日(木)

午後2時～4時30分(予定)
(開場=午後1時30分～)

場所 青垣生涯学習センター 弥生の里ホール

申込 長寿介護課か社会福祉協議会に7月10日(火)までに電話・FAXで。

問い合わせ

長寿介護課 ☎ 34-2052 / FAX 33-8220

町社会福祉協議会 ☎ 34-2118 / FAX 34-7305



プログラム

第1部 基調講演

「地域で助け合うためにみんなで考えよう」

講師 土屋幸己さん

(公益財団法人さわやか福祉財団 戦略アドバイザー)

第2部 パネルディスカッション

「地域の助け合い・支え合い活動ってどんなもの?」
～みんなが主役、お互いさまのある暮らし～

▶アドバイザー:土屋幸己さん ▶パネリスト:松島靖朗さん(安養寺住職)、森田紀美代さん(地域サロン「ぬくぬくもりた」)、乾千恵子さん(地域助け合い活動「たすけあいもみぢ」)、森章浩(町長) ▶コーディネーター:藤本勇樹さん(町社会福祉協議会)

